

# □ 認知症連携部会研修会 アンケート結果総括

- 令和元年10月に、2度にわたり認知症連携部会主催の医療・介護連携による認知症支援の取組み(初期集中支援事業)についての研修会を開催。
- 研修会では、初期集中支援事業の概要説明に続き、具体的な取り組み事例を挙げ、当該事例に携わった支援関係者によるパネルディスカッションを実施。関係者間でどのような意見交換や支援が行われたかを示した。
- 居宅介護支援、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、通所リハビリの各事業所に周知を行った結果、2日間で計68名の参加を得た。

## 1 医療・介護連携が必要と思われる利用者について

- ・ 参加者へのアンケートにて、担当する利用者に初期集中支援事業の対象となり得る方がいるか否か回答を求めたところ、大半の参加者が「対象者あり」と回答。

事業別種別	回答者数	対象者有	構成比
居宅介護支援	36	33	91.7%
訪問看護	15	15	100.0%
訪問リハビリ	3	3	100.0%
通所介護	5	4	80.0%
通所リハビリ	2	1	50.0%
その他	11	9	81.8%
合計	72	65	90.3%

※ 事業所種別「その他」は、医療機関、在宅介護・地域包括支援センターなど

※ 複数の事業所種別を選択した参加者がいるため、回答者数と参加人数は一致しない

## 2 初期集中支援事業利用の意向

- ・ 上記で初期支援の対象となり得る利用者がいると回答した方の初期集中支援事業利用意向

利用したい	利用したくない	分からない
46	0	11

※ 回答を複数選択した方がいるため、回答者数と各問の合計は一致しない

## 3 初期集中支援に関する感想(抜粋)

- ・ ケアのやり方で本来のBPSDが改善したとのこと。多職種連携推進・研修部会の連携と智恵(栄智)を集約してもらえる場は大切だと思いました。
- ・ とても画期的な取り組みです!! ケアマネの仕事はとても孤独なので心強いです!!
- ・ 実際の事例をもとにしたパネルディスカッションではそれぞれの立場での意見が聞けてとてもわかりやすかった。情報の共有、理解の大切さを強く感じた。
- ・ ついつい「薬」を頼ってしまいがちですが、その方の生活歴や、ご家族がどう考え、どう接しているのかを、もっと知ろうという努力が必要なのではないか?と思いました。
- ・ 連携することなるべく多くの人と関わる大切さを感じました。
- ・ 利用者家族の入るMCSにより、家族支援につながる事に大変納得しました。実際の際は大変気をつかう部分でもあるとも感じます。
- ・ 家族や事業所の孤立化を防ぎ、よかったと思う